

名称	糖尿病に併発する疾患のバイオマーカーに関する評価
目的	九州大学病院において、2016年9月16日から2017年4月14日の間に別の研究へ提供いただいた方の試料を本研究に用います。試料中の生体因子を解析し、新薬の創製に利用することを目的としています。
実施期間	2018年4月～2023年3月
利用する試料・情報	名称：血液 入手先：九州大学病院 内分泌代謝・糖尿病内科
利用範囲	田辺三菱製薬株式会社、研究受託機関
試料・情報の管理責任者	薬物動態研究所長 水内 博

名称	肝疾患患者の肝生検組織，血液を用いた創薬標的分子のバリデーションおよびバイオマーカー探索
目的	1998年12月1日～2017年12月31日までに金沢大学附属病院において肝疾患と診断された方の試料を本研究に用います。遺伝子解析を行い、新薬の創製に利用することを目的としています。
実施期間	2018年11月～2022年3月
利用する試料・情報	名称：肝生検および手術により摘出された肝組織，血液 入手先：金沢大学附属病院 内分泌・代謝内科1
利用範囲	金沢大学、田辺三菱製薬株式会社
試料・情報の管理責任者	薬物動態研究所長 水内 博

名称	筋疾患治療薬の創製を目的とした患者由来細胞の細胞機能評価
目的	国立精神・神経医療研究センターバイオバンクの試料を本研究に用います。細胞機能の解析を行い、新薬の創製に利用することを目的としています。
実施期間	2018年11月～2023年12月
利用する試料・情報	名称：筋芽細胞 入手先：国立精神・神経医療研究センターバイオバンク
利用範囲	田辺三菱製薬株式会社
試料・情報の管理責任者	モダリティー研究所長 小田上 剛直

名称	先天性代謝異常症患者の脳脊髄液を用いたバイオマーカー探索
目的	国立精神・神経医療研究センターバイオバンクの試料を本研究に用います。試料中の生体因子を解析し、新薬の創製に利用することを目的としています。
実施期間	2019年3月～2023年3月
利用する試料・情報	名称：脳脊髄液、診療情報 入手先：国立精神・神経医療研究センターバイオバンク
利用範囲	田辺三菱製薬株式会社
試料・情報の管理責任者	薬物動態研究所長 水内 博

名称	筋疾患治療薬の創製を目的とした患者由来細胞の細胞機能評価
目的	国立精神・神経医療研究センターバイオバンクの試料を本研究に用います。病態関連タンパク質の発現抑制が細胞機能に与える影響について解析し、新薬の創製に繋がる知見を得ることを目的としています。
実施期間	2019年3月～2024年3月
利用する試料・情報	名称：筋芽細胞、診療情報 入手先：国立精神・神経医療研究センターバイオバンク
利用範囲	田辺三菱製薬株式会社
試料・情報の管理責任者	フロンティア創薬ユニット長 山内 理夏子

名称	遺伝性神経疾患患者由来の脳脊髄液中におけるバイオマーカーの定量
目的	国立精神・神経医療研究センターバイオバンクの試料を本研究に用います。脳脊髄液中の病態関連タンパク質濃度を測定し、治療の有効性予測に活用可能なバイオマーカーを見出すことを目的としています。
実施期間	2020年4月～2021年10月
利用する試料・情報	名称：脳脊髄液、診療情報 入手先：国立精神・神経医療研究センターバイオバンク
利用範囲	田辺三菱製薬株式会社
試料・情報の管理責任者	薬物動態研究所長 水内 博

名称	筋疾患患者由来細胞を用いた細胞機能評価
目的	国立精神・神経医療研究センターバイオバンクの試料を本研究に用います。病態関連タンパク質の発現抑制が細胞機能に与える影響について解析し、新薬の創製に利用することを目的としています。
実施期間	2020年6月～2025年5月
利用する試料・情報	名称：筋芽細胞、診療情報 入手先：国立精神・神経医療研究センターバイオバンク
利用範囲	田辺三菱製薬株式会社
試料・情報の管理責任者	フロンティア創薬ユニット長 山内 理夏子

名称	ミトコンドリア固有のリン脂質を標的とした脳症治療薬創製
目的	2006年3月25日～2020年3月31日までの間に埼玉医科大学および千葉県こども病院の生化学診断においてミトコンドリア病と診断された患者由来の試料を使用します。病態関連物質の測定および細胞機能評価を行うことを目的とします。
実施期間	2021年1月～2022年9月
利用する試料・情報	名称：皮膚線維芽細胞 入手先：埼玉医科大学病院ゲノム医療科
利用範囲	田辺三菱製薬株式会社，研究受託機関
試料・情報の管理責任者	神経科学創薬ユニット長 奥山 昌弘